

高齢化社会のさまざまな課題を解決することを目的とした学際的な学問

ジェロントロジーを学ぶ モニター受講生（第2期生）募集

「人生 100 年時代」を美しく、健康で暮らすことができるまちづくりを進めていますが、この一環として、(一財)日本総合研究所が配信する教育コンテンツ「ジェロントロジー総合講座」のモニター受講生を募集します。

講座を終了後に市が認定した「ジェロントロジー市民アンバサダー」としてインフルエンサーになっていただけます。先行して受講した「アンバサダー第1期生」も現在活動しています。この機会にお申し込みいただき、参加者間で親睦を深めながら受講しましょう。

受講料
無料

申込期限

1月31日 火

受講期間 2月中旬～3月
定員 15名

1日2講座 × 6日（※1日あたり2時間程度）受講する必要があります。

【講座トピック】

- 健康
- 医療
- 社会参加
- 移動、旅行
- 福祉
- 金融
- 美容、美齢
- 宗教、心

会場

地域共生交流施設 小星ベース

受講対象者

健康や医療、お金のことなど「100 歳人生」を過ごすうえで重要なテーマに関する講座を受講し、課題を提出するとともに、ワークショップやその他活動に参加していただける方

申込方法

受講者の氏名、年齢、住所、電話番号をお電話で下記担当までお知らせください。

問申

美と健康のまち推進課 ☎52-5730 FAX 52-5731 ✉ biken@mima.i-tokushima.jp



新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、長引くコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の影響で、エネルギー価格をはじめとした物価が高騰し、市民生活や企業活動に大きな影響が及びました。一方、サッカーワールドカップでは、惜しくも8強はなりませんでしたが、日本チームの活躍は、私たちに感動と勇気を与えてくれました。私も、「壁がいかに高くてもチャレンジする姿勢で市政運営に当たりたい」との思いを強くいたしました。

さて、10月に市長に就任させていただいてから3か月が過ぎました。この間、物価高騰対策の補正予算を編成するなど、直面する課題にスピード感をもって対応

応してまいりましたが、来る令和5年度は、市長選挙において公約として掲げさせていただいた施策に、本格的に取り組んでまいりますと考えております。

まず、市民の皆様が「100歳人生」を美しく、健康で、活躍いただけるよう、ヴォルティスコンディショニングプログラムに引き続き取り組むとともに、ジェロントロジーの普及や幅広い世代の皆様への健康増進など、美と健康のまちづくりプロジェクトを深化させたいと考えております。

また、現在、脇町小星地区に整備中の、学校給食センター、防災用物資集積拠点、そしてIoT活用水耕栽培施設の3施設が本年8月までに順次完成いたします。昨春、先行オープンした「小星ベース」と合わせ、農業と食育、防災、交流の各機能をあわせ持つ拠点施設として、効果が最大限発揮されるよう活用を進めてまいります。

昨年10月1日に運用を開始したデジタル地域通貨MIMACAですが、加盟店舗の皆様のご協力で、多くの市民の皆様にご

利用いただいております。市いたしましたし、今後とも、MIMACAの定着、普及に向けた取組を進めるとともに、子育て支援における活用など、行政ポイントについても拡充を図ることとしております。

一方、市民の皆様が実感されているように、本市では人口減少が進んでいます。人口減少に少しでも歯止めをかける「攻め」の施策と同時に、人口減少の暮らしへの影響を緩和する「守り」の施策についても重要性が増しています。このため、生徒数の減少に悩む中学校の部活動への支援など、人口減少を前提とした施策についても可能なものから着手したいと考えております。

また、本市では、国の「デジタル田園都市国家構想」に呼応し、「行政デジタル化」の取組を進めております。昨年は、市のホームページから様々な申請や申込みをしていただけだった環境を整備しましたが、今月から、「書かない窓口」をめざした「スマート申請・スマート窓口」の運用を開始したほか、行政デジタル化の基盤と

なるマイナンバーカードの利用を促進するため、「コンビニ交付サービス」の手数料を一律200円に引き下げております。今後は、行政の効率化だけでなく、市民生活をよりよくするため、防災や教育など幅広い分野でDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進いたします。

ほかにも、令和5年度は、郡里廃寺跡の公園整備工事に着手するほか、穴吹認定こども園の「公私連携型」への移行準備を進めることとしており、防災・減災や、「儲かる」観光、「儲かる」農業業に向けた施策などを含め、市民の皆様が、「美馬市に住んで良かった」と感じて頂けるよう、私が先頭に立って、着実に、そしてスマートに、取り組んでまいりますので、市民の皆様には、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

皆様にとりまして、本年が更り多き素晴らしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

令和5年1月1日
美馬市長 加美一成